

『会社を綴る人』 朱野 帰子 著 (分類:Fア)

注意散漫で自信がなく、何をやってもうまくできない紙屋は、あまりの仕事のできなさに何もしないでくれと言われる始末。だが、唯一誇れる文章力で、文書にまつわる事件を解決し…。『小説推理』連載を加筆し書籍化。



『草々不一』 朝井 まかて 著 (分類:Fア)

身分とときたりに縛られた、武家の暮らし。仇討ち、就活、婿入り、剣術、罪と罰…。切なくも可笑しい人生の諸相を描いた、時代小説短編集。『小説現代』掲載を加筆修正して単行本化。



『雨上がり月霞む夜』 西條 奈加 著 (分類:Fサ)

火事で店を失った秋成は、幼なじみの雨月が結ぶ庵に居候することに。だが雨月は、妖しを引き寄せる体質で…。『雨月物語』に大胆な現代的解釈を試みた珠玉の連作短篇集。全9篇を収録する。『小説BOC』連載を書籍化。



『愉楽にて』 林 真理子 著 (分類:Fハ)

東京・京都・シンガポールを舞台に、家柄にも資産にも恵まれた50代の男たちが甘美な情事を重ねていく。その果てに一。絢爛たる官能美の世界を描く長編小説。『日本経済新聞』連載を単行本化。



『常設展示室』 原田 マハ 著 (分類:Fハ)

パリ、NY、東京。世界各地の美術館で、人生の岐路に立つ人々が出会う、運命を変える一枚。アート小説の第一人者が、美術館の片隅で繰り広げられる人間ドラマを描く短篇集。『小説新潮』掲載を単行本化。



『さよならの夜食 カフェマカン・マラン おしまい』

古内 一絵 著 (分類:Fフ)

これまでたくさんの悩める人が訪れたカフェのクリスマス。店内では、ひとりの時間に浸る店主・シャルの姿が。彼女は、深夜のカフェを開いた理由と、その未来をひっそりと語り出し…。「マカン・マラン」シリーズ最終巻。



『こといづ』 高木 正勝 著

(分類:914 タ)

32歳だったあの日から39歳になる手前まで、生まれ育った新興住宅地から山の谷間の小さな村へ。ピアノを弾くように、歌をうたうように綴られる言葉。世界がいとおしくなるエッセイ集。『ソトコト』掲載に加筆・修正。



『猫も老人も、役立たずでけっこう』 養老 孟司 著 (分類:914 ヨ)

まるは、私の生きることの“ものさし”である。NHK「ネコメンタリー 猫も、杓子も。」から生まれた、養老孟司と愛猫・まるの老老コンビが贈る痛快エッセイ。



『旅の賢人たちがつくった海外旅行最強ナビ』

丸山 ゴンザレス 編 (分類:290 タ)

初心者・ひとり旅・ツアー・バックパッカー・女子旅…。どんなスタイルでも役立つ海外旅行ナビ。滞在先での過ごし方、トラブル対処法など基本的なノウハウを収録。旅の賢人たちの経験がつまった多数のコラムも掲載。



『うちの犬(コ)の服+小物』 金子 俊雄 著 (分類:594 カ)

タンクトップ、チュールワンピース、デニムパンツつき T シャツ、おでかけコート、たれ耳帽子…。トラッドでベーシックな、着せやすい犬の服と小物 26 点の作り方を紹介。洋服は 14 サイズ、小物は 5~3 サイズで展開する。



『キャンドル・カービングの教科書』

影山 真希子 著

(分類:594 カ)

無限の可能性を秘めた「キャンドル・カービング」の世界へようこそ！キャンドル・カービングに必要な材料や道具、8つの基本カット、日本の四季をイメージした作品12点の作り方を解説します。コピーして使える型紙付き。



『保持林業木を伐りながら生き物を守る』

柿澤 宏昭 編

(分類:654 ホ)

欧米で実践され普及しつつある、生物多様性の維持に配慮し、かつ林業が経済的に成り立つ「保持林業」を紹介。北海道での大規模実験、世界の先進事例、施業と森林生態の考え方、必要な技術などを科学的知見にもとづき解説する。



『沢村さん家(ち)のそろそろごはんですよ』

益田 ミリ 著

(分類:726.1 マ)

スーパーの惣菜売場が好きな父、料理上手な母、家族の夕食を仕切る立場となった40歳未婚の娘。思うところはありますが…幸せな食卓です！『週刊文春』連載に描き下ろし「沢村さん家のスキヤキ」を加えて書籍化。



『ゴッホ 最後の3年』 バーバラ・ストック 作

(分類:723.35 ゴ)

「ひまわり」「星月夜」「夜のカフェテラス」など傑作の生まれた3年間。その果てに彼が見たものとは？新たな視点からゴッホの晩年を描いた、アムステルダム・ゴッホ美術館等共同制作のグラフィックノベル。



『ことば検定 <語彙>編』

テレビ朝日「グッド!モーニング」 編

(分類:810 コ)

「くだをまく」という言葉の由来は？「役不足」の本来の意味は？テレビ朝日「グッド!モーニング」内で出題した語彙にまつわる問題を再編集し書籍化。「<漢字>編」も同時刊行。



新しく入った 児童図書・YA
(12/9) 予約受付いたします！

『なんげえはなしっこしかへがな』

北 彰介 文／太田 大八 絵 (分類:Eオ)

「ながーい話をしてやろうかな」という語りで始まる、津軽の「果てなし話」。綿々とくりかえされる言葉が紡ぐ滑稽な昔話全7話を、生き生きとした津軽弁と味わい深い絵で収録する。(幼児～)



『ゆき』 はた こうしろう 絵

(分類:Eハ)

ゆきやこんこ、あられやこんこ。ふってはふっては、ずんずんつもる。やまものはらもわたぼうしかぶり、かれきのこらずはながさくー。雪が降るとみんなが口ずさむ「ゆき」の歌の絵本。楽譜も掲載。(幼児～)



『風と行く者 守り人外伝』 上橋 菜穂子 作

(分類:913 ウ)

「天と地の守り人」後のバルサを過去の回想を交えて描く、「守り人」シリーズ外伝。少女時代のバルサとジグロの旅が現在のバルサの旅と交叉し、ゆたかな物語が立ちあがる。(小学校高学年～)



『窓をあけて、私の詩をきいて』 名木田 恵子 著

(分類:913 ナ)

水鳥は大切な仲間に対して、秘密を抱えている。詩を書いていること、そして同性の幼なじみに特別な感情を抱いていること…。相手を想えばこそ言葉にできない切なさを鮮やかに描く、永遠・普遍の恋物語。(小学校高学年～)



『アンネのこと、すべて』

アンネ・フランク・ハウス 編 (分類:289 フ)

アンネが生きたのはどのような世界だったのか？ユダヤ人は、なぜ迫害されなければならなかったのか？「アンネの日記」の著者アンネ・フランクの誕生から死、アンネの関係者の現在までをたどる。ミニページあり。(小学校高学年～)

